■6月の休館日：（杵築・山香）16日、28日／（大田）すべての日曜日、28日

今月の特集 雨ニモマケズ・・・

ちょっと鬱陶しい季節。でも、そんな雨の季節を楽しく過ごせるワザ、紹介しちゃいます！！

- ●「忍者大集合―忍者になってあそんじゃおう！」山本和子・あさいかなえ／チャイルド本社
- ●「造って遊べるカンタンおもちゃ」竹井史／ひかりのくに
- ●「新聞紙で遊ぼう！雨の日だってへっちゃら！」熊丸みつ子／かもがわ出版
- ●「しずくのぼうけん」マリア・テルリコフスカ／福音館書店　ほか

今月のおはなし会

【杵築図書館】　図書館おはなし会：6月1日（土）、4日（火）毎月第1（火・土曜日）の10時30分～
おはなしくらぶ　：6月15日（土）／10時30分～※開講式

【山香図書室】　図書館おはなし会：6月15日（土）／13時～

話題の新刊から役立つ文献まで！ 図書館だより

［平成25年5月］

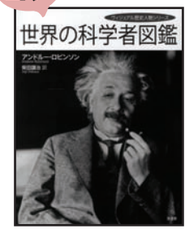
杵築市立図書館 TEL0978-62-4362
山香図書室 TEL0977-75-1055
大田図書室 TEL0978-52-3111
［市立図書館公式サイト］
http://www.ideastore-kitsuki.com/
［市立図書館携帯サイト］
http://www.library.city.kitsuki.lg.jp/m

今月の！コレ

『世界の科学者図鑑』

アンドルー・ロビンソン編・原書房

▼ガリレオ、ニュートン、ファラデー、ダーウィン、パストゥール、キュリー夫妻、アインシュタイン、フロイト…。43人の科学者の生涯とその独創的な業績を、豊富な図版とともに紹介します。



今月の新着本（●は児童書）

【杵築図書館】●「古文書くずし字見わけかたの極意」油井宏子（柏書房）●「命のビザを繋いだ男」山田純大（NHK出版）●「仕事のカタログ」（自由国民社）●「最高のがん治療を受ける方法」奥仲哲弥（エクスナレッジ）●「福島原発事故はなぜ起こったか」畑村洋太郎（講談社）●「切り裂きジャックの告白」中山七里（角川書店）●「グーテンベルクのふしぎな機械」ジェイムズ・ランフォード作（あすなろ書房）●「古どうぐ～るぐる」赤城香織（西日本新聞社）●「はだかのサイ」ミヒャエル・エンデ（フレーベル館）●「怒りのフローラ」イザボー・S・ウィルス（東京創元社）**【山香図書室】**●「グアム本」（エイ出版社）●「アウトドアキャンプ100の基本」（学研パブリッシング）●「ゆうじょこう」村田喜代子（新潮社）●「びっくり！どうぶつデパート」サトシン（アリス館）**【大田図書室】**●「日本の家紋大事典」森本勇矢（日本実業出版社）●「衣類の洗濯・収納・お手入れ便利帖」山崎勝（幻冬舎エデュケーション）●「農業維新」嶋崎秀樹（竹書房）●「脊梁山脈」乙川優三郎（新潮社）　ほか

『使用済み小型家電』をモデル回収しています。

回収期間　平成25年6月～平成26年1月

使用済み小型家電には、貴重な資源「レアメタル」が含まれています。
大分県では、レアメタルリサイクルシステムのモデル事業を進めており、
そのモデル自治体のひとつとして、杵築市も昨年度に引き続き事業を実施します。

回収品目一覧

①デジタルカメラ　②ビデオカメラ
③携帯音楽プレイヤー
④携帯ラジオ　⑤携帯用テレビ
⑥小型ゲーム機　⑦電子辞書・手帳
⑧電卓　⑨リモコン　⑩携帯電話
⑪電話機　⑫電源コード類

回収 ▶▶

←市役所の各庁舎の入り口に写真の回収ボックスを設置しています。

▶▶ その後

県が委託した回収業者が回収後中間処理を行います。

▼

パンパシフィック・カッパー㈱佐賀関精錬所にて分析抽出をします。

現在、小型家電リサイクル法の法制化に伴い、別杵速見地域広域市町村圏事務組合を構成する別府市、日出町等と回収方法について協議中です。

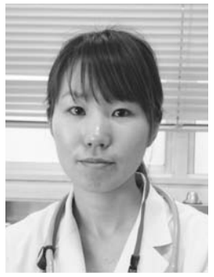
杵築市は、今年度より新たに燃やさないごみからの「ピックアップ回収」（選別回収）を行います。

もやさないごみの出し方は従来どおりにお願いします。

なお、個人情報を含むと思われる小型家電については、別途保管します。

【問い合わせ】生活環境課☎0978-62-3131（環境衛生係）

「パーキンソン症候群」



内科医師　土師　恵

山香病院だより vol.74

こんにちは。4月から山香病院内科で勤務させていただいています、土師恵です。よろしくお願いします。

今回はパーキンソン症候群について、紹介します。パーキンソン症候群とは、パーキンソン病のような症状が起こる疾患群のことです。

パーキンソン病とは、①安静時振戦（何もしていないのに手や指がふるえる。）②固縮（関節がうまく動かない、固い。）③動作緩慢（歩き方等がゆっくりになる。）④姿勢反射障害（転倒しやすい。）の4つの症状を特徴とする病気です。具体的には、手がふるえて、表情が乏しくなり、小声でぼそぼそしゃべる。動きがゆっくりになり、歩幅が狭くなり、こけやすい、といった症状が特徴的です。脳の基底核という部分の細胞が変性して働かなくなってしまい、ドーパミンという神経伝達物質が少なくなることで、このような症状が起こってしまいます。

話をパーキンソン症候群に戻します。パーキンソン症候群は、症状はパーキンソン病と似たようなものが起こりますが、原因が異なります。

具体的な原因として、

①脳血管障害性：脳梗塞や脳出血の後遺症によって起こります。脳梗塞や脳出血が小さい場合は、明らかな症状が出ないことがあり、画像検査で疑われます。パーキンソン病薬による治療で、少し改善の見られることがあります。

②薬剤性：薬によって、脳から出るドーパミン作用が減少します。原因となる薬剤を中止することで症状が改善します。薬剤は通常使用しても特に問題ない場合がほとんどですが、人によっては症状が出現します。

③脳炎後遺症：ウイルスによる脳炎の後遺症による症状です。

④中毒性：急性期の症状が改善した後の慢性期一酸化炭素中毒の1つの症状です。また、マンガン（金属）中毒でも起こるため、どのような仕事をしているかも重要です。

⑤正常圧水頭症：歩行障害・尿失禁・認知症を3大症状とする病気です。脳の周りに髄液という液体がありますが、毎日作られ、毎日吸収されています。色々な理由で吸収が追い付かず、髄液が多く溜まって脳を圧排してしまいます。

⑥その他の神経変性疾患群：特にここに入るものは初診時や初期には確定診断つかないことがあります。時間がたつにつれて症状がはっきりし、所見や画像でも違いが出てくるからです。ただ、通常のパーキンソン病と異なり、薬で改善が乏しいことが多くみられます。

よくある病気、というわけではありませんが、「そういえば」と思うきっかけになれば幸いです。

【申込・問い合わせ】スポーツ振興課☎0978-63-5558